

総合計画調査特別委員会	
1. 日 時	令和7年12月4日（木） 9：30～10：38
2. 場 所	議員協議会室
3. 出欠席議員	（出席）野々村康委員長、桐村裕一副委員長、金崎美和委員、原田豊彦委員、本多紀元委員、堀毛宏章委員、岡圭子委員、荒木礼子委員、小島政行委員、隅田雅春委員、前田えり子委員、渡辺拓道委員、稲山悟委員、降矢杏奈委員、安井博幸委員、大内正博委員、向井千尋委員、上田英樹委員
4. 市部局	企画総務部
5. 参考人	なし
6. 傍聴者	なし
7. 協議事項	議案第71号 第3次丹波篠山市総合計画後期基本計画の策定について
8. 議事の経過	<p>開会 9：30</p> <p>野々村委員長あいさつ （開 会）</p> <p>日程第1 議案第71号 第3次丹波篠山市総合計画後期基本計画の策定について</p> <p>企画総務部より説明</p> <p><主な質疑応答等> 渡辺委員 回答の部分とはちょっと別の件ですけども、今回、総合計画の</p>

案を出していただいて委員会のほうでいろいろと見せていただきました。今日は総合計画の調査ということではあるんですけども、この前から総合戦略を個別に作とったやつを、もうこの総合計画に包含するというか、兼ねるといような形でできていました。その辺りの考え方だけちょっとお伺いしたいなと思うんですけども、総合戦略自身については、基本的に人口減少について、どういうふうに取り組んでいくか。東京圏の一極集中について、どう丹波篠山市として取り組んでいくかというようなことでしてきたんですけども、今回、いわゆる人口減対策について、関係人口という言葉がよく聞かれるんですけども、いわゆる出生対策とかも含めて、人口減対策について基本的にどういう考え方でこの計画は総合戦略的な視点で成り立っているのかということを確認できたらと思います。

野々村委員長

人口減対策について総合的にどう考えているかという御質問の趣旨でよろしいですか。

渡辺委員

総合戦略的にどう考えておられるのかお聞きできればと思います。

野々村委員長

分かりました。それでは、渡辺委員の総合戦略的な点において、人口減対策をどのように考えているのか答弁をお願いいたします。

企画総務部

総合戦略の件ですが、第二次総合戦略につきましてはこの第三次総合計画に含み一体的な運用を図っているところです。第三次総合計画の冊子の 24 ページに基本計画の概要というところで記載をしておりますが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略との一体化」というところで、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が俗に言う総合戦略になるんですけども、この戦略については、第三次総合計画基本構想、前期基本計画、後期基本計画とございますが、それらの計画に包含するような形で盛り込んでいるところです。今、国のほうが総合戦略を策定中というところで、次期の総合戦略につきましても、国、県の戦略を踏まえまして、丹波篠山市としても、次の総合戦略の策定を行っていくこととしております。あと人口の問題につきましては、今回、総合計画のほうにも将来の見通しというところで掲げておりますが、この総合戦略を策定する際にも、当然、社人研の動き等も中心に、また今回でしたら今、国勢調査がされております。その辺の状況も踏まえまして、今後の将来の見通し等についても検証を行っていきたい

というふうに考えております。

渡辺委員

何故この質問させていただいたかという、出産祝い祝い金とか、これまで余り一貫性のないような取り組みがありました。拡充しても、次の年にはもうそれをなくしてしまったので、その辺りについては、長期的な形で取り組んでいかなければならない部分について、ちょっとフラフラしたような形でこれまで施策が展開されてきていたので、その辺りは非常に大事な問題ではあるので、一貫した考え方を持って進めていただきたいので、どういう考えにあるのかなということで聞かせてもらいました。

上田委員

今回、議会からの申入れの中で1番大きなことは、先ほど渡辺委員も言われたんですけども、人口の見通し、また人口減少社会の加速というところがございます。今、社人研並びに国勢調査でも十分に加味していきたいという説明があったんですけど、やはり国勢調査というのは、丹波篠山市全域的に総論で何人になりましたよという、この総合計画で言えば総論的なところが多いと思います。その人口見通しのデータの各論といえば、今、内閣官房がビッグデータを出してしまっていて、それは各市が申請すればビッグデータを手に入れることができます。そのビッグデータというのは何かと言いましたら、そこに住んでいる者がどこに行き、どのように移動しているか。また、どのように入ってきているのか。そのようなデータ活用が今後は推進する中では1番大事なかなと思います。基本計画の各論については、各部署でそれぞれ見直しとか検証を行っていく中で進捗するものだと思いますけども、細かいデータを活用してこそ、今後5年間の毎年度、見直しする中で、今の丹波篠山市の人口形態、人口の見通しができるんじゃないかなと思います。これはやはり企画総務部創造都市課がきちっと押さえないといけないというふうに私は思っているんですけど、そういう国が出されているデータ等を活用されるのか。今後の基本計画の進捗状況も含めた中で教えていただきたいと思います。

企画総務部

国勢調査あるいは社人研だけではなく、国のビッグデータ等を活用した中でより詳細な分析が必要でないかというふうな御質問であったと思っております。確かに、丹波篠山市も、西、東、北、南と各地域によって人口の動態が違ってきております。それに伴いまして丹波篠山市が施策を実施していく内容もそれぞれ異なってくるというふうにも認識をしております。そういう中で、より

詳細なデータを分析していく中で、これからの丹波篠山市のまちづくりを進めていくには必要なことだというふうには認識しておりますので、国のビッグデータも含めまして、あらゆるところのデータを駆使する中で、今、そういうデジタル化も非常に進んでおりますので、そういうところをより分析して、特に人口見通しについては検証していきたいというふうに考えております。

上田委員

ちょっと私の質問が悪かったかもしれませんが、市内間の移動を中心に見ていただきたいのではなく、丹波篠山市を一つの基本として、東京圏へどう行っているのか。またほかの県へどのように行っているのか。丹波篠山市を中心としたデータを国は持っていますので、それを活用していただきたいということなんです。市内間の移動は私たちの中でも分かりますので、丹波篠山市を一つの核とした中で、全国へどう動いているのかという詳細なデータがありますので、そういうものを十分に活用頂きたいということをお願いをさせていただきます。

渡辺委員

上田委員のほうからデータの話がありましたので、その辺り把握できているのかだけお伺いしたいと思うんですけども、出生数が大分減ってきています。この前、ちょっと気が付かなくてびっくりしたんですけども、年間 200 人ぐらいまでになっているのですが、実際は 200 人のうち 1 割から 1 割強ぐらいは、外国人の子どもさんかなというふうに思います。その辺りについては、どう把握されていて、実際その方たちには継続して居住していただけたらうれしいんですけども、将来的にこの町で大きくなっていかれる可能性が低い方も結構いらっしゃるのではないかと思います。その辺りの部分について、把握というか留意されているのかどうかお伺いさせていただきます。

企画総務部

出生数につきましては、現在、年間 200 人という数字を目指しているところですけども、今年度に関しまして、11 月末現在ですが、3 月までの見通しを考えた場合には、厳しい数字になってくるかなというふうに考えております。大体、今 1 か月に 20 人のペースで前後しているところかなと感じております。外国人の方については、今、市内でも 1,000 人を超える方が在住されているところで、実際にこの出生数の中でどれぐらいの割合なのかは手持ちのデータとしては持っていないんですけども、今、外国人の方もこれまでは結構伸びがあったんですけども、今は 1,000 人を超える中で、今までの動きからするとやや右肩上がりのライ

ンがちょっと緩くなっているのかなっていうようなところは思っています。ただ、外国人の方が増えてきている現実はございます。ですので、その辺りのこの出生数との関係については今数字を持ち合わせておりませんが、今後、この200人というのが一つのポイントになってくると思うんですけども、コロナ禍以降、若干持ち直しているところはあるんですけども、厳しい数字になっているということについては認識をしております。

渡辺委員

総数だけを私もこれまで意識していたのですが、実際には移動される可能性がある方もかなり含まれている数字に最近はなっているのかなと思いますので、その辺りは把握をしていただきたいのと思いますのでよろしくお願いします。

野々村委員長

上田委員、渡辺委員から御発言がありましたように、現在は詳細なデータを入手することができます。詳細なデータを分析していただきまして、総合的な計画や戦略に落とし込むことによって、政策が実を結ぶことになろうかと思っておりますので、今後ともご検討をよろしくお願いいたします。

ほかに質疑はありませんか。

— 質疑なし —

野々村委員長

それでは質疑がないようですから、これをもって質疑を終わります。

■ 議員間討議

野々村委員長

討論、表決に入る前に、全体を通して何か御意見はありませんか。疑義がある場合、市長に確認してきた事項がありましたら、上げていただきたいと思っております。何か意見はございませんでしょうか。

安井委員

市の方針として、地域ポイントを進めるみたいなことが総合計画にあったと思うんですけども、ただ財政持続計画の11月27日に出された資料を見ると、デカンショポイントを廃止するという話が載っていました。だから、総合計画には書いているけども財政計画、の計画ではもうなくそうとしていると。そこら辺にちょっと引っかかりを覚えるんですけども。今、担当所管のほうで無くそうとされているのであれば、もう削除しといたほうがいいのかと思うんですがいかがでしょうか。

野々村委員長

安井委員のほうから、先日全協で提案されました財政持続計画の草案について齟齬が起こっているのではないかという御意見を頂い

ておりますが、委員の皆様の御意見を求めたいと思います。

荒木委員

地域ポイントに関する審査は産業建設分科会で担当したと思うんですが、すみませんちょっとページ数がすぐ出てこないで、何ページか分かりましたらお願いします。補足として、我々のほうもデカンショポイントは総合計画から外すべきだということを審査の中で意見はいたしましたので、外れていると思っているんですが、何ページかちょっと分からないです。

野々村委員長

それでは申し上げます。市長からの回答についての文書の8ページです。成果指標に記述のあるデカンショポイント加盟店数については云々、記述は削除することが妥当であるというような申入れに対して、デジタル地域ポイントの文言を削除しましたという回答があります。計画案ではページは99ページの行政の役割のというところにデジタルポイント等の表現があったんですが、新たに提案されている計画案の中には表記はないということになっています。安井委員いかがでしょうか。

安井委員

分かりました。

野々村委員長

全体的な御相談ですが、先日、全協で示されました財政持続計画の素案については、今回提出されている総合計画と相入れないところもあります。ただし全協で一方向的に御提案された草案だけでございますので、それを議会が認めたわけではございません。今後、予算の審査等におきまして、委員または委員会で具体的なものについて議決を行っていくということでございますので、先日の全協で示された財政持続計画の改正素案と、今回の総合計画が全く合致する必要は現在のところはないのかなと。その個別のことについては今後、予算審議の中で、議会としてどういうふうに判断するかっていうのは、別の場での議論になるのではないかとというふうに私は考えるんですが、その辺の点につきましても御意見を頂ければありがたいです。御意見を求めます。いかがでしょうか。

— 異議なし —

野々村委員長

それでは先ほどの前日の全協の草案等を今回の総合計画についてはマッチングしないということで議論を進めていきたいと思えます。ほかに意見はございませんでしょうか。

— 発言なし —

野々村委員長

それでは、意見がないようですので、今回は市長への確認質問は行いません。

■表決

議案第71号 第3次丹波篠山市総合計画後期基本計画の策定について
－ 討論なし ・ 賛成全員で可決 －

桐村副委員長あいさつ

10:38 閉会